

コミュニティ・スクール（CS）だより

2026.2.13
Vol.51

名張市教育委員会事務局発行

第2回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会 講演会開催



1月30日、山口県地域連携教育推進会議代表アドバイザーの木本育夫さんにお越しいただき、「コミュニティ・スクールの充実に向けた方策～学校運営協議会と地域学校協働活動との連携のあり方～」という演題でご講演をいただき、推進協議会委員及び各校の管理職等が校区に分かれて、意見交流しました。木本先生からは学校と地域の人々が相互理解や信頼関係を高めるためには学校運営協議会の中身やコミュニティ・スクール（以下、CS）を十分に機能させるためにどのような取組が必要かという観点でお話をいただきました。木本先生が名張のCSの課題であると感じていることをチェック項目として示していただいたり、**効果的なCS運営のポイント**を話してくださったりしました。

～CS推進にあたって学校では～



◆ビジョンの共有と発信

・育てたい子ども像、めざす学校像(学校経営方針)等のビジョンを示す

◆教職員への情報提供

・地域等との連携・協働の必要性を示す
・協議会での協議の内容を情報提供する

◆教職員と委員との交流機会をつくる

・交流会や熟議の場を設け、一体となって進むための機運を高める

◆学校を知る機会をつくる

・学校の教育活動を知ってもらうことが大切である
・学校公開や行事等への参加機会の提供
・教職員による学校の現状等のレクチャー会等を実施する

～CS推進にあたって学校運営協議会では～

◆校長のビジョン(学校経営方針)を受け、内容を共有する

・育てたい子ども像、めざす学校像の理解、共有する

◆学校を知るために動く

・学校公開や行事等への参加
・子どもたちの現状と課題、学校教育の内容等を学ぶ

◆教職員、保護者との交流機会をもつ

・交流会や熟議の場へ参加し、つながりをつくる

◆広報活動を行う

・教職員に地域との連携・協働の必要性を示す

・協議会の内容等を地域に発信する

市内CSの取組より～教職員と委員のつながりを～

目指す児童像を共有し、育成に向けてどのように取り組むのか全教職員で熟議



蔵持小学校 第2回学校運営協議会

保護者・教職員の参加を増やし
拡大大学校運営協議会に



桔梗が丘小学校 第2回学校運営協議会

地域の方と行った各学年の
学習活動を担任が紹介

学校・児童の様子を
画像等で共有



桔梗が丘東小学校 第2回学校運営協議会



学校教育目標をテーマに
全教職員との懇談

地域と学校がともにできることを
テーマに全教職員で熟議



桔梗が丘南小学校 第2回学校運営協議会

桔梗が丘中学校校区の各学校は、教職員との懇談を工夫して行いました。それぞれの学校の課題や、めざす子ども像の育成に係る目標を共有し、教職員と委員が顔を合わせて話す貴重な機会となりました。（桔梗が丘中学校の取組は「CSだよりNo.49」参照）

～桔梗が丘東小学校

学校運営協議会では～

学校運営協議会で話し合われたことが地域や保護者に共有されにくいという実態があります。内容によっては、共有されることでさらにCSや地域学校協働活動が充実することもあります。

桔梗が丘東小学校の学校運営協議会委員であるPTA会長は協議会が終わると、いつも他の保護者向けに保護者連絡ツール等を通じ、学校の様子や協議内容等を精査して発信してくださっています。

（非公開事項は除き、校長の了承を得て発信しています）